



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東・大・名  
 コード番号 4118 URL <http://www.kaneka.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 公一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 石原 忍 (TEL) (06) 6226-5169  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	353,262	0.4	11,757	24.4	12,049	33.2	6,622	120.3
24年3月期第3四半期	351,907	3.6	9,450	△44.4	9,044	△47.3	3,005	△71.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 8,998百万円( —%) 24年3月期第3四半期 △5,558百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	19.65	19.64
24年3月期第3四半期	8.87	8.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	467,689	260,666	53.6
24年3月期	467,082	257,460	53.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 250,815百万円 24年3月期 247,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	6.5	20,000	52.1	18,500	46.2	10,000	85.1	29.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	350,000,000株	24年3月期	350,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	13,043,888株	24年3月期	13,049,811株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	336,954,333株	24年3月期3Q	338,864,592株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成25年2月8日にて、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。
- ・決算説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。  
(当社ホームページ)  
<http://www.kaneka.co.jp/finance>

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報等	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)の業績は、売上高は353,262百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期)比0.4%増)と前年同四半期と比較して増収となり、営業利益は11,757百万円(前年同四半期比24.4%増)、経常利益は12,049百万円(前年同四半期比33.2%増)、四半期純利益は6,622百万円(前年同四半期比120.3%増)と増益となりました。

セグメント別では、前年同四半期と比較して、機能性樹脂事業、食品事業、ライフサイエンス事業は減収となりましたが、化成品事業、発泡樹脂製品事業、エレクトロニクス事業、合成繊維、その他事業は増収となりました。営業利益は、機能性樹脂事業、食品事業は減益となりましたが、化成品事業、発泡樹脂製品事業、ライフサイエンス事業、合成繊維、その他事業は増益となり、エレクトロニクス事業は損失が縮小しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化成品事業

塩化ビニール樹脂は、国内外の市況が低調に推移しましたが、コストダウンに注力しました。塩ビ系特殊樹脂は、国内市場・海外市場ともに販売数量が増加しました。か性ソーダは、国内市況は堅調に推移しましたが、販売数量は減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は70,132百万円と前年同四半期と比べ795百万円(1.1%増)の増収となり、営業利益は2,813百万円と前年同四半期と比べ745百万円(36.0%増)の増益となりました。

②機能性樹脂事業

モディファイヤーは、製品差別化力の向上、コストダウンなどの収益体質強化に注力しましたが、国内及び海外市場の需要低迷の影響を強く受け、販売数量は低調に推移しました。変成シリコーンポリマーは、国内市場・海外市場ともに販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は51,912百万円と前年同四半期と比べ918百万円(1.7%減)の減収となり、営業利益は4,460百万円と前年同四半期と比べ130百万円(2.9%減)の減益となりました。

③発泡樹脂製品事業

発泡スチレン樹脂、押出發泡ポリスチレンボードは、第3四半期後半より急激な原燃料価格上昇の影響を受けましたが、関係会社再編などの経営の効率化に努めました。ビーズ法発泡ポリオレフィン、東日本大震災やタイの洪水災害によって停滞したサプライチェーンの回復などを背景に販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は44,628百万円と前年同四半期と比べ480百万円(1.1%増)の増収となり、営業利益は3,592百万円と前年同四半期と比べ93百万円(2.7%増)の増益となりました。

④食品事業

食品は、低価格品志向が一層強まる中で、新製品の拡販やコストダウンに注力したものの、販売数量が低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は97,636百万円と前年同四半期と比べ1,195百万円(1.2%減)の減収となり、営業利益は3,797百万円と前年同四半期と比べ261百万円(6.4%減)の減益となりました。

⑤ライフサイエンス事業

医療機器は、インターベンション事業が公定価格の引下げの影響を受けました。医薬バルク・中間体は、販売数量が低調に推移しましたが、機能性食品素材は国内市場を中心に高機能品の販売数量が前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は34,191百万円と前年同四半期と比べ930百万円(2.7%減)の減収となりましたが、営業利益は6,881百万円と前年同四半期と比べ937百万円(15.8%増)の増益となりました。

⑥エレクトロニクス事業

超耐熱性ポリイミドフィルム、光学材料は、エレクトロニクス製品市場の需要の拡大と新規案件の採用などにより販売数量が前年同四半期を上回りました。太陽電池は、国内市場向けの拡販と徹底したコストダウンに注力しました。太陽電池関連部材は販売数量が低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は30,374百万円と前年同四半期と比べ1,769百万円(6.2%増)の増収となり、営業損失は2,808百万円と前年同四半期に比べ損失が縮小しました。

⑦合成繊維、その他事業

合成繊維は、高付加価値品の拡販、販売価格の修正やコストダウンなどの収益改善策に注力しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は24,387百万円と前年同四半期と比べ1,355百万円(5.9%増)の増収となり、営業利益は3,420百万円と前年同四半期と比べ2,227百万円(186.6%増)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ606百万円増の467,689百万円、有利子負債残高は、7,172百万円増の81,850百万円となりました。また、純資産は、為替換算調整勘定の増加等により3,205百万円増の260,666百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により19,832百万円となりました。投資活動による資金の支出は、有形固定資産の取得による支出等により25,949百万円、財務活動による資金の収入は、借入の実施による資金の増加と配当金の支払額等による資金の減少により905百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、22,686百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、欧州経済低迷が懸念されるものの、米国及び新興国では景気回復の兆しがあります。わが国経済は、新政権によって打ち出された経済政策により足元では円高・株安の修正が進んできており、なお不透明感が残るものの、景気回復が期待されます。

このような経済環境の中、当社グループは、重点戦略分野への事業展開を進め、新規事業の創出、グローバル展開やアライアンスの強化等により、事業構造の変革を推進してまいります。また、既存事業での販売数量増大のための施策や、生産から販売まで含めたトータルコスト低減に向けた技術開発や業務革新をグループ一体となって進め、収益力強化に徹底して取り組んでまいります。

通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,309	22,757
受取手形及び売掛金	118,367	115,907
有価証券	322	322
商品及び製品	44,225	48,371
仕掛品	8,823	8,950
原材料及び貯蔵品	23,753	23,389
その他	13,389	13,140
貸倒引当金	△164	△125
流動資産合計	236,027	232,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,173	53,428
機械装置及び運搬具（純額）	62,739	63,730
その他（純額）	49,524	49,787
有形固定資産合計	164,437	166,947
無形固定資産		
のれん	3,935	3,979
その他	3,035	3,939
無形固定資産合計	6,970	7,918
投資その他の資産		
投資有価証券	41,658	41,514
その他	18,514	19,068
貸倒引当金	△527	△472
投資その他の資産合計	59,646	60,109
固定資産合計	231,054	234,975
資産合計	467,082	467,689

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,444	64,354
短期借入金	37,061	46,206
未払法人税等	2,834	1,558
引当金	710	7
その他	40,820	33,124
流動負債合計	145,871	145,250
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	24,151	22,495
退職給付引当金	19,008	19,023
引当金	336	310
負ののれん	430	274
その他	4,822	4,668
固定負債合計	63,750	61,772
負債合計	209,621	207,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	34,836	34,836
利益剰余金	197,372	198,327
自己株式	△10,552	△10,545
株主資本合計	254,703	255,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,664	4,891
為替換算調整勘定	△11,841	△9,741
その他の包括利益累計額合計	△7,176	△4,850
新株予約権	137	159
少数株主持分	9,796	9,690
純資産合計	257,460	260,666
負債純資産合計	467,082	467,689



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	351,907	353,262
売上原価	270,242	266,735
売上総利益	81,665	86,526
販売費及び一般管理費	72,215	74,769
営業利益	9,450	11,757
営業外収益		
受取配当金	1,015	951
為替差益	299	1,145
持分法による投資利益	233	—
その他	849	999
営業外収益合計	2,398	3,096
営業外費用		
支払利息	664	652
固定資産除却損	856	863
持分法による投資損失	—	21
その他	1,283	1,267
営業外費用合計	2,804	2,804
経常利益	9,044	12,049
特別利益		
投資有価証券売却益	2,294	277
特別利益合計	2,294	277
特別損失		
固定資産売却損	243	—
支払補償費	—	931
訴訟関連費用	997	464
事業構造改善費用	2,330	—
特別損失合計	3,570	1,395
税金等調整前四半期純利益	7,769	10,931
法人税、住民税及び事業税	3,480	1,918
法人税等調整額	908	2,403
法人税等合計	4,388	4,321
少数株主損益調整前四半期純利益	3,380	6,609
少数株主利益又は少数株主損失(△)	375	△13
四半期純利益	3,005	6,622

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,380	6,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,516	214
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△4,407	2,167
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	7
その他の包括利益合計	△8,939	2,388
四半期包括利益	△5,558	8,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,679	8,949
少数株主に係る四半期包括利益	120	49

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,769	10,931
減価償却費	21,674	21,101
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△665	△58
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△172	△94
受取利息及び受取配当金	△1,103	△1,001
支払利息	664	652
持分法による投資損益(△は益)	△233	21
固定資産処分損益(△は益)	813	449
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,294	△277
売上債権の増減額(△は増加)	△11,902	3,101
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,214	△3,636
仕入債務の増減額(△は減少)	5,367	△416
その他	2,286	△7,023
小計	13,989	23,750
利息及び配当金の受取額	1,150	1,039
利息の支払額	△609	△596
法人税等の支払額	△6,224	△4,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,306	19,832
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△22,232	△24,903
有形固定資産の売却による収入	849	470
無形固定資産の取得による支出	△1,322	△1,504
投資有価証券の取得による支出	△147	△139
投資有価証券の売却による収入	3,117	338
関係会社株式の取得による支出	△929	△18
関係会社株式の売却による収入	143	—
貸付けによる支出	△117	△524
貸付金の回収による収入	155	574
その他	△103	△243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,587	△25,949

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,913	6,750
長期借入れによる収入	3,330	7,066
長期借入金の返済による支出	△1,284	△7,143
社債の償還による支出	△5,149	—
リース債務の返済による支出	△312	△312
配当金の支払額	△5,423	△5,391
少数株主への配当金の支払額	△82	△61
自己株式の取得による支出	△529	△3
自己株式の売却による収入	1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△536	905
現金及び現金同等物に係る換算差額	376	471
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,441	△4,739
現金及び現金同等物の期首残高	36,978	27,157
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	268
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,537	22,686

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	69,337	52,831	44,148	98,831	35,121	28,604	23,031	351,907	—	351,907
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,558	477	146	0	9	350	1,173	3,717	△3,717	—
計	70,895	53,308	44,295	98,832	35,131	28,955	24,205	355,625	△3,717	351,907
セグメント利益又は損失(△)	2,068	4,591	3,499	4,058	5,943	△3,071	1,193	18,283	△8,833	9,450

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,283
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△8,809
その他の調整額	△25
四半期連結損益計算書の営業利益	9,450

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	70,132	51,912	44,628	97,636	34,191	30,374	24,387	353,262	—	353,262
セグメント間の内部売上高又は振替高	924	469	131	0	5	473	1,220	3,224	△3,224	—
計	71,057	52,382	44,760	97,636	34,196	30,847	25,607	356,487	△3,224	353,262
セグメント利益又は損失(△)	2,813	4,460	3,592	3,797	6,881	△2,808	3,420	22,158	△10,400	11,757

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	22,158
セグメント間取引消去	△22
全社費用(注)	△10,336
その他の調整額	△42
四半期連結損益計算書の営業利益	11,757

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、研究開発体制の一部を見直し、従来「エレクトロニクス」事業に区分しておりました研究開発費の一部を基礎的研究開発費として全社費用に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。